

令和4年度 後期学校評価アンケート（保護者意見と回答）

※保護者回答期間 令和5年2月1日（水）～2月10日（金）

（学校生活等全般について）

○先生方にいつも大変お世話になり感謝しております。本人も、体調に気をつけながら、頑張って学校に行っています。クラスの仲間達と一緒に楽しく過ごしているようです。ありがとうございます。（1年生保護者）

○担任の先生にとってもお世話になっております。ありがとうございます。

（1年生保護者）

○校長先生、教頭先生、先生方に大変お世話になっております。行事等や、休校措置等も、生徒目線で考えて下さり、本当に、感謝しております。息子は、小見中での学校生活がとても充実していて、毎日が楽しいそうです。有難うございます。お忙しい中でも、毎日、学校のブログを更新して下さい、感謝の思いでいっぱいです。毎日、楽しみにしております。（1年生保護者）

○沢山の生徒さんがいる中でちゃんとみてくださっていると感じています。子供もそう感じているようで感謝しております。いつもありがとうございます。（1年生保護者）

○いつもお世話になり、ありがとうございます。入学してからあつという間に1年が経とうとしています。だいぶ学校生活にも慣れてきたようで、毎日学校であった出来事や楽しかった事を嬉しそうに報告してくれます。2年生になると部活や勉強に更に忙しくなると思いますが、サポートを頑張っていきたいと思います。来年度は色んな行事が通常開催されていくことを願っています。引き続きご指導よろしくお願い致します。（1年生保護者）

○子供が体調不良の時に、先生が丁寧に対応してくださいました。感謝しかありません。ありがとうございました。（1年生保護者）

○子供の話をよく聞いて下さりいつもありがとうございます。（2年生保護者）

○娘の状況に関して、教員、職員の皆様が本当に親身に相談にのっていただき本当に感謝しております。（2年生保護者）

○担任の先生も部活の顧問の先生も思春期男子の気持ちを理解して下さり、いつも温かいご指導ありがとうございます。学校も部活も友だちも大好きで、充実した学校生活を過ごせていると思います。校長先生も部活の大会の度に遠方まで応援に駆けつけて下さり、本当にありがとうございます。これからもよろしくお願い致します。（2年生保護者）

○優しい先生方ばかりで感謝しかありません。本当にいつもありがとうございます。

（2年生保護者）

○先生方が優しく接してくれてありがたいです。2学年の先生方の生徒に対して愛情を感じます。（2年生保護者）

○いつもありがとうございます。（2年生保護者）

○いつもお世話になっております。先生方とも驚くほどに打ち解けて色々な話に耳を傾けて下さっているようで大変心強く思っています。帰宅すると友人の話だけではなく先生方の話もよくしています。学校生活が充実しているようで嬉しいです。春には3年生。後輩たちのお手本になるように勉強、部活、その他活動を精一杯頑張りたいと思います。

（2年生保護者）

○いつもお世話になりました、ありがとうございます。日々楽しい学校生活をおくらせて頂けているようで、先生方のおかげと感謝しております。ありがとうございます。今後とも宜しく願い致します。（2年生保護者）

○いつもお世話になっております。これからもよろしくお願いいたします。

（2年生保護者）

○我が子ももう少しで卒業を迎えようとしています。この3年間はコロナ生活と共に過ごした時間となつてはしまいましたが、中学校生活を安心して送れたのは、校長先生はじめ、先生方の指導、対応のおかげだと思います。これまでありがとうございました。

（3年生保護者）

○いつも御世話になっております。今後も宜しく願いします。（3年生保護者）

○いつも有難うございます。残り少なくなりましたが今後とも宜しく願いいたします。

（3年生保護者）

○思春期の難しい時期に、先生が親身に向き合って下さいました。ほんとうにありがとうございました。（3年生保護者）

○コロナもだいぶ少なくなり行事も出来るようになりよかったですと思います。受験に向けて担任の先生も良く気にかけて頂きありがたいです。小見川中学校の子供達は挨拶も出来ていて学校の雰囲気も良いと思います。先生達の対応も親切で感じが良いです。

（3年生保護者）

○娘は先生やお友達のこと、部活動のことなどたくさん話してくれました。楽しい中学校生活を送れたんだと思います。先生方の温かいご指導、ご尽力に感謝いたします。3年間ありがとうございました。（3年生保護者）

○入学からほぼコロナ禍の3年間でしたが、とても貴重な3年間で過ごせたと思います。残りわずかになりますがご指導ありがとうございました。（3年生保護者）

○コロナ対応から始まった3年間でしたが、部活や勉強に取り組めたのも先生方のおかげと感謝しています。ありがとうございます。（3年生保護者）

○3年間お世話になりました。娘も楽しく通えましたし、先生方のきめ細やかな対応に心より感謝しております。特に学年便りや進路便りは詳しくわかりやすく書かれており、提出忘れなどを未然に防げて助かりました。ありがとうございました。（3年生保護者）

○お世話になっております。受験の大切な1年間でしたが、兄弟が体調不良でなかなか登校ができなく、休みが続きご心配をおかけしました。休んだ日に、連絡していただくと娘も次の日の持ち物や予定が分かり不安も減りました。ありがとうございました。

（3年生保護者）

○いつも楽しく学校に通っています（3年生保護者）

○3年間、大変お世話になりました。先生方の、熱心なご指導、本当に感謝しております。ありがとうございました。（3年生保護者）

○生徒一人一人に寄り添い、全力で応援してくれる、困り事には、きちんと原因をつきとめ、すぐに対応してくれる。素晴らしい先生に感謝してます。（すこやか2保護者）

（回答）

学年を問わずたくさんの保護者の皆様から、お褒めの言葉や本校の教育に対する肯定的なご意見をいただきありがとうございました。引き続き職員一丸となって、生徒たちの成長のため、5年後、10年後を見据えて努力して参りますので、変わらぬご理解とご協力をお願いいたします。

(学校ホームページについて)

○お忙しい中、学活ノートのやりとり、学年だより、ホームページなど子どもたちの様子を伝えてくださり、感謝しています。(1年生保護者)

○学校生活や部活動などホームページ、学年通信で見れること、書いてある内容も何が大切で何を考えなくてはならないのか毎回とても勉強になります(1年生保護者)

(回答)

本校学校経営の重点のひとつでもある「開かれた学校」の実現に向けて、今後も学校の様子や生徒たちの活躍の様子を、地域・保護者の皆様にお伝えできるよう努力して参ります。また逆に、今回のような機会にとらわれることなく、いつでも感想やご意見等を頂けると幸いです。学校メール(omigawa-j@katori-edu.jp)

(学習について)

○いつもお世話になっており、ありがとうございます。先日は子どもがコロナにかかり学校を1週間お休みしたのですが、授業が受けられなかった分の学習がわからず遅れているのが気になっております。自宅で親が教えられたらいいと思うのですが…。先生方にはいろいろとお忙しい中、ご指導頂き感謝しております。今後ともよろしくお願い致します。

(1年生保護者)

○いつも息子がお世話になります。テスト前など、苦手教科を先生に聞きに行き、快く熱心、丁寧に教えて頂き、よく教えてもらったから、良い点数じゃないと先生に申し訳ないと頑張る姿がありました。先生方には感謝しています！(2年生保護者)

○いつもお世話になり、ありがとうございます。授業でわからなかったところを後から質問した時など先生方が大変丁寧に説明して下さると子どもから話を聞きます。学ぶ意欲をより高めてくださる細やかなご指導に感謝です。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。(2年生保護者)

○進路指導がしっかりとしていてとても良いと思います。(3年生保護者)

○いつもお世話になり、ありがとうございます。子どもの初めての受験ということもあり、私自身何もわからなかったのですが、細かく教えて頂いてとても有り難かったです。子どもと先生(学校)と親、みんなの力を合わせて受験を戦うんだなぁとしみじみ感じました。公立高校入試まであと少しですが、引き続きご指導よろしくお願い致します。

(3年生保護者)

○数学の先生には受験勉強でのわからない問題をご指導いただいたり、部活の顧問の先生にはすれ違うたび受験への励ましの声をかけていただいたり、担任の先生を始め先生方にはお忙しい中でも、生徒1人1人に寄り添って考えてくださっている事を感じ感謝でいっぱいです。本当にありがとうございます。(3年生保護者)

(回答)

本校はどの学級も30人以上の生徒が在籍しており、どうしても先生対学級集団というような構図になりがちですが、今回お寄せ頂いたご意見のように、生徒ひとりひとりが積極的に先生たちへ質問することは大歓迎ですし、生徒の成長のためにもとても大切なことです。勉強に限らず何でもそうですが、まず自分から頑張ろうとした時に人は大きく伸びていきます。引き続き職員はていねいな対応を心がけて参りますので、保護者の皆様におかれましても、生徒たちが積極的に職員に質問するようお声かけをお願いいたします。

○歌のテストで、みんなの前で一人や二人などの少人数で歌うのは歌の苦手な子にとって苦痛だと思う。工夫して欲しいです。（２年生保護者）

（回答）

確かにこの場面だけで捉えるとご指摘になる気持ちも理解いたします。しかし、もう少し視野を広げてみますと、学校生活の中では、スポーツテストの時にみんなの前で５０ｍのタイムを計る場面や、体育祭の１００ｍ競走、また、全員の美術や習字の作品を掲示したりするケースもございます。もうずいぶん前になりますが、かけっこをして最後はみんなの手をつないでゴールするなんて小学校もありました。しかし、これから生徒たちが生きていく世の中で、みんなで手をつないでゴールということはまずありません。人間ですので、誰しも得意なこと不得意なことはあります。中学生の年代の子供たちには難しいことかもしれませんが、不得意な部分を人と比べて自分を卑下する必要もないですし、むしろありのままの自分を一度素直に受け入れて、そこから一步一步前に進んでいくという考え方ができた方がしあわせに生きていけるようにも思います。また学校もありのままの友達を受け入れることが出来る広い心を持った生徒を育てるよう努力いたします。

（部活動について）

○お世話になります。部活動ですが、入部する前に一年間の活動内容、部活のユニフォームなどお金のかかるもの、親の送迎の有無、休日の活動内容などがわかるものが欲しかったです。入部してからの説明会で配布では遅いかと思います。（１年生保護者）

（回答）

ご意見ありがとうございます。概算になってしまうかと思いますが、次年度は正式入部前に資料が提示できるようにいたします。

○各部活の部室があれば雨天の日にはストレッチ等基礎体力増進が出来たり、部活で使うシューズ、ラケット等の持ち帰りを軽減出来るのかと思います。（２年生保護者）

（回答）

ご意見ありがとうございます。現実的な問題（主に予算面）として、今後部室を新しく作るとは厳しいと考えます。雨の日につきましては、校舎内の空いている部屋や階段、各階にあるオープンラウンジなどを利用して、練習を行っている部活動がたくさんありますので、各部活動間で調整を図りながら練習に取り組んでいただけるものと考えます。

また、部活動で使用する用具等の取り扱いについては、各部活動顧問の考えもあるかと思うので、直接顧問にご相談ください。

○コンピューター部の活動が以前よりは検定の練習などしていただいているようですが、せっかく部活に入っているののでどんどん練習させて検定を受けるように指導してもらいたいです。（２年生保護者）

（回答）

コンピュータ部につきましては、前回の学校評価アンケートでご意見を頂いた点等を含め活動内容の見直しを図っており、日頃から生徒たちには各種検定の受検を勧めたり、小見川中学校独自のワープロ検定も実施しております。また、先日２月１６日にも日本語ワープロ検定試験を実施いたしました。今後もさらに充実した活動内容となりますよう努め

て参りますので、ご理解とご協力の程よろしくお願いいたします。また、お気づきの点等あれば引き続きご意見等いただければと思います。

○部活動は全員強制参加ではなく、希望者が入部する形に変えて部の数を減らし、教師への負担を減らすことが学習指導の向上にもつながるのではないかと思います。必ずしも自分に合った部活動があるとは限らないのに、3年間続けるのだからよく考えてと決めつけるのも違うような気がします。もし合わないと感じたら転部することも可能です、と記載がないと嫌だけど辞めることを我慢する生徒も出ると思います。改善してもらえたらいいですね。（2年生保護者）

（回答）

ご意見ありがとうございます。本校の部活動については、原則全員参加とさせていただいておりますが、生徒個々の状況に応じて柔軟に対応しておりますのでご相談ください。また、一度やると決めた部活動を3年間やりとおすことは生徒の心の成長という面からは大きな意味がありますが、生徒個々の状況によっては転部をした方がその段階では生徒のプラスになるケースもございますので、その時々で適切に判断していければと考えます。状況によって転部をしてもいいということの生徒への周知は今後進めて参ります。

さて、中学校における部活動の在り方については、まさに真剣に考えなくてはいけない時代が来ていると認識しております。国は将来的には、中学校では部活指導を行わない方向性を示しており、市町村教育委員会を中心に部活動の地域移行の取組も始まりました。また、来年度の全国大会につながる夏の総体からは、クラブチームでの参加も認められるようになります。教職員の負担、働き方改革の面だけで言えば、確かに部活動は大きな負担となっています。しかし一方で、人生というスパンで見た場合に、心身ともに著しく発達する中学生の時期に部活動へ取り組むことの意義、これからの時代に求められる人材の育成、学校生活の中に部活動があることで存在を輝かせている生徒がいる実態等を考えると、学校教育における部活動の存在価値は数値では表しきれないものがあるということ、保護者の皆様も実感としてご理解いただけるのではないのでしょうか。いずれにいたしましても、部活動の問題は、生徒のことを中心に据えた上で、時代の変化も捉えながら対応して参ります。

（学校行事等について）

○お世話になっております。学校行事などは、小さい子がいる場合、人数制限や体調などで参加できなく寂しい思いをしておりました。その中、タブレットで体育祭や合唱コンクールを配信していただき本当に嬉しかったです。先生方のご配慮に感謝いたします。

（2年生保護者）

（回答）

タブレットでのリアルタイム配信については、本校若手職員のアイディアで実施いたしました。コロナ禍で保護者の皆様にも制限をかけざるを得ない状況が続き大変心苦しく思っていました。ある若手の職員から「校長先生、いけると思いますので、やってみませんか」との声があり、さっそくチャレンジした次第です。校長としては、本校職員のアイディアとやる気にも感謝しております。

○コロナと共にあった中学生生活で、職業体験や一部中止になった部活の大会など、経験させたかったことができなくて残念なこともたくさんありました。でも、経験の数自体は少なかったとしても、できた経験1つ1つがとても充実していたことが息子の様子から伝わってきました。日頃から、1つ1つの経験に、先生方が添えてくれる言葉や助力が「深いなあ」と感じていて、先生方の指導力や良いお友達のおかげでいい中学生生活を送れたなど思い、学校すべての方に感謝しています。3年間ありがとうございました。

(3年生保護者)

(回答)

今年の3年生は小学校卒業を間近に控えた頃、急激に新型コロナが感染拡大し、年度が替わった4月には「緊急事態宣言」が発令。中学生にはなったものの、学校は閉鎖されたままで、ようやく分散登校で新しい友達に会えたのが6月。入学式は真夏の7月でした。その後もコロナ禍での制限は続き、行事の中止や縮小は日常茶飯事で、学校生活も三密を避け、今なお給食は黙食が続いています。それでも今年度に入ってから、様々なことがコロナ前に戻ってきて「3年ぶり」を枕詞に学校行事を実施してきました。正直、小見川中の行事に取り組む先輩の姿を見たことのない最上級生にどこまでできるだろうかという不安もありましたが、そんな不安は杞憂に終わりました。修学旅行、生徒総会、部活動壮行会、体育祭、文化祭など、ひとつひとつが素晴らしい内容で、3年生の一生懸命さと頑張りは、見ている人たちに感動を与えてくれました。この紙面をお借りして、3年生に敬意を表します。ありがとうございました。

(生徒指導について)

○生徒の髪の色や化粧が気になります。基本教育は家庭が中心ですが、学校でも全体で注意するのもいいですが、それでも直らない場合は、個人的に注意をしてもいいと思います。多様性もあって指導しづらいこともあります。宜しくお願いします。また、私自身も日頃子供の前では他人の悪口は言わないように努めています。ですので、教職員の方々も生徒の前では決して、冗談でもあの人苦手だという言葉は謹しむ努力をお願いしたいです。

(2年生保護者)

(回答)

生徒一人一人のこと、また学校のことを考えてくださったご指摘ありがとうございます。これまでも学校評価アンケートの回答の中で触れてきましたが、授業や部活動、学校行事などすべての教育活動は、生徒たちの人間的な成長のために行われるべきものです。本校生徒が授業に真剣に取り組む、また部活動の大会や学校行事などに一生懸命に取り組んだ結果、勝っても負けても涙を流す姿は小見川中学校の財産です。

しかし一方では、発達段階的に、中学生はおしゃれなどに興味をもつ時期でもあります。先日もごく少数ではありますが、髪の毛の色など気になる生徒がいましたので、2学年は学年集会を行い学年主任から指導をいたしました。今後はご指摘のように、気になる生徒については個別に指導をしていきます。集団もひとつの生き物のような側面があり、それぞれ独自の雰囲気や空気感があります。そしてその雰囲気の良い悪いがその集団に所属する生徒の成長に大きく影響を与えることは、保護者の皆様もご存じのとおりです。本校は約500人の生徒がおりますので「集団で生徒を育てる」といった視点も大切にしながら今後も教育活動に取り組んで参ります。

○親身になって対応していただいている先生方には感謝しています。しかし、全国的に登校が難しい子供が増えている中、まだまだ配慮が足りないと感じます。先生1人の対応や発言が子供の心を閉ざしてしまうこともあります。教員としての物差しだけではなく、もう少し、寄り添う気持ちを見せていただきたいと思います。1年のとき、出来ないことが多いため、出来る事を頑張ろうとしていて『自己顕示欲が強い』と言われたことがあります。勉強が苦手なことは『悪』なんでしょうか。なぜ、やろうとしているところを認めないのか。そういう考え方は、古いと思います。本人なりに、みんな努力しようとしていることを、もっと理解していただきたいと思います。昔は…とか、昔から…とかが、小見中は多すぎます。考え方も時代に合わせて、多様性を持って柔軟でなければ、子供は窮屈なだけだと思います。

(3年生保護者)

(回答)

不登校傾向のある生徒について、本校職員は電話連絡や家庭訪問はもとより、養護教諭やスクールカウンセラーによる面談など、日々、時間を惜しむことなくいねいに対応を心がけております。しかし、一方では言葉かけに配慮が足りなかったり、言葉の真意が十分に伝わらずに、結果的に当該生徒にいやな思いをさせてしまう事実もございました。その点、深くお詫び申し上げます。今後も職員研修を積むなどして、生徒への対応がよりきめ細かなものとなるようさらに努力して参ります。保護者の皆様には、本校職員が誠実に対応しようとしていることはご理解をいただき、引き続き、生徒の将来のために共通理解を図りながらご協力をお願いいたします。

○知り合いから聞いたのですが、昨年秋頃に電車に乗っていたら、部活の練習試合か大会帰りの小見川中の生徒数名が同じ車両に乗ってきて、とてもうるさかったそうです。先生が何度も注意をしても全く静かにせず、マナーを守ることができない生徒がいて残念だ、と言っていました。(3年生保護者)

(回答)

ご指摘ありがとうございます。ご指摘頂いた内容を全職員で共有し、本校の生徒たちが、人に迷惑を掛けない、社会的なマナーを守る意識をしっかりと人につたよう努力して参ります。

(登下校について)

○冬の時期、ウィンドブレーカーは保温性が低いようで着ていても「寒い」と言っています。ウィンドブレーカー以外の上着の着用を検討していただけないでしょうか。

(2年生保護者)

(回答)

ご意見の内容を推察しますと、「本校指定のウィンドブレーカー」以外の着用を認めて欲しいとのことですが、現時点では、特に寒い日は下着を重ね着するなどの工夫をしてご対応をお願いいたします。

ウィンドブレーカー以外にも、制服、くつ、靴下、通学用バッグなど、公立の中学校では全生徒が学校指定の同じものを使用するケースが多くあります。背景としましては、思春期の生徒たちの心理や様々な各ご家庭への配慮があります。例えば、くつを例にとっ

てみますと、生徒の登下校に使用するくつを自由にした場合、くつにも比較的安く購入できるものからかなり高価なものまでありますので、友達がいっているからとの理由で必要以上に高価なくつを保護者にねだったり、結果的に買ってもらえない生徒が、思春期であるが故に他人と比べて不必要にいやな思いをしたりすることを防いでいます。また各ご家庭にとっても結果的に経済的であると考えます。生徒たちにとりましても、持ち物を友達と比較して悩んだりすることが少なくなり、本来、この時期の生徒たちに取り組んで欲しい学業などに集中できるようになると考えております。

○子供達の自転車の乗り方が悪いと思います。事故に繋がる乗り方が多く見受けられます。
(3年生保護者)

(回答)

生徒たちの自転車の乗り方についてのご指摘大変申し訳なく感じております。前回の学校評価アンケートでもお答えしたとおり、この件については、度々地域の方々からも電話等でご指摘をいただいております。学校としまして、全校生徒の95%が自転車通学をしている本校の現状を踏まえて、その都度、全校生徒に対して、また、地区やヘルメットの色からある程度生徒の特定ができる場合は個別に指導を繰り返しております。自転車の安全運転の徹底は、①自分の命は自分で守る、②人に迷惑をかけない、という観点からも大変重要な課題であると考えます。引き続き、生徒の心に響くよう指導を継続してまいりますので、それぞれのご家庭でも保護者の立場からご指導をお願いいたします。

なお、次年度は「スケアードストレイト交通安全教室」(交通事故の衝撃をスタントマン等の協力により自分の目で見るとの)の実施も予定しております。

○スポーツバッグが小さく、荷物が入らない時が多々あったのですが、もう1つバッグを持っていけないとの事で、無理やり入れてたので、数回バッグが破れてしまいました。もう1つバッグを持って行っても良いのでは？(3年生保護者)

(回答)

さらにバッグを持たせて、自転車に積む場合の安全性なども含めて、生徒たちにとって何がいいのかの視点から、学校としても検討して参ります。

(PTA活動について)

○今後のPTA活動のあり方を検討する時期にきていると感じております。弟が今東小に通っておりまして、ちょうど会長を東から出さなければなりません。ただ、東は人数がとても少なく本部役員をやっている方は、たった数名しか残っていません。その中から会長を出さなければいけないというのは少し酷な気がします。今後は東だけでなく、西や北も少ない人数から決めるというのはとても大変だと思います。今後は、活動のあり方を考え直す必要があると思います。ご検討をよろしくお願い致します。(3年生保護者)

○コロナ禍で状況が変化していく中、その変化に合った対応を常々していただき、先生方には感謝しています。体育祭や合唱コンクールを最後に観れて本当に良かったです。教育活動ではないのですが、PTA役員の決め方を、学校毎に出す必要がなければ、変えて欲しいです。人数の少ない学校の保護者の負担が大きいと思います。数年後には子供がいない学年も出てくるので、学校毎で決めるやり方は時代に合っていない気がします。会長のまわり

番も、始まって10年程ですし、廃止して欲しいです。（3年生保護者）

（回答）

具体的にご意見をいただきましてありがとうございます。本校におきましても生徒数の減少は着実に進んできており、現在はピーク時の約3分の1くらいとなっています。それに伴いこれまで通りのやり方では当然不都合も起こって参りますので、次年度になりましたら、次年度のPTA本部役員の方々を中心に検討して参ります。

（その他）

○黙食は、もう解除してもいいのでは？学校の特色がない。これに力を入れてますというのが感じられない。（1年生保護者）

（回答）

香取市内にも様々な規模の学校があり、本校は其中でも1学級当たりの生徒数が多い学校です。コロナ感染に係るこれまでの事例から、マスクを外しての会食は、極めて感染リスクが高まることから、本校においては黙食を継続して参りました。一方、令和5年3月13日から「マスクの着用は個人の判断が基本となる」こと等も踏まえ、今後、香取市教育委員会の指導方針のもと適切に判断して参ります。

また、小見川中学校の経営方針につきましては、年度当初にホームページにも掲載したとおり、「人を育てる～集団での活動をとおして～」を学校経営の中心に据え、7つの重点項目とその土台となる教師としての在り方、信頼関係の構築をベースに進めて参りました。不易と流行という言葉もございますが、守るべきは守り、思い切って変えるべきは変え、今後も努力して参りますのでご理解とご協力をお願いいたします。

○いつもお世話になっております。1年近く経ち、疑問点が4つほどあります。

1、コロナ理由で学級閉鎖になった際にeラーニングでの課題が出題されました。

その際に【基礎】【標準】【応用】のどれをやれば良いのか学年からの明確な指示はなかったそうです。（子供曰く、初日の課題全部やったら3時間かかったそうです）

（回答）

この件は1年生のケースかと思われますので1年職員に確認したところ、ご指摘のとおり、今回、【基礎】【標準】【応用】の3コースをどのように進めればよいかの指示が明確に出されていなかったとのことでした。今後は生徒たちによりわかりやすい指示が出せるよう改善して参ります。

2、コロナ陽性になった子のご家庭全てに担任がタブレットPC端末を届けに行かせたのは学校上層部の意向だったのでしょうか。閉鎖解除になってから1週間ほど担任が体調不良で不在でした。労災等、問題はないのでしょうか。

（回答）

何らかの理由でタブレットを持ち帰れなかったご家庭に職員がタブレットを届けましたのは、学年職員による生徒たちへの善意と配慮によるものです（最終的には校長の責任において行っております）。また、職員が体調不良になったことと学級閉鎖との間には一定以上の時間のずれがあり、直接的な因果関係は認められませんし、労災等の問題もございません。ご心配をおかけいたしました。

3、部活動について。半年前に転部希望の話を担任にしたのですが、認められないと突っぱねられました。子供曰く、他の生徒の転部はあっさりとして認めているそうです。それ以降、子供は部活動休みまくっています。

【校則に毎日部活出ろって書いてないのに、毎日部活出なきゃいけない根拠が知りたい】と子供は主張しています。

(回答)

1学年に確認をしたところ、このケースは保護者のお考えと生徒の意向にズレがあったため、結論が出ないままになってしまったとのことでした。今後、迅速に対応できるよう改善して参ります。なお、前述にもありますように、その時々の子供やご家庭の状況に応じて転部は可能であり、生徒にとって現時点で一番良い部活動を見つけていきたいと考えておりますので、これからでもご相談ください。

また、校則に「毎日部活に出るように書いていない」とのことですが、そもそも校則、学校の決まりは、生徒の行動一つ一つについて規制するものではなく、生徒たちが安心・安全、そして公平に学校生活を送れるよう示された最低限のルールです。部活動については、当然、部活動毎の約束やルールが発生します。所属した部活動の顧問の指示及び顧問と生徒たちとの話し合いで決めていただければと考えます。

4、一部の先生が子供達の前で別の先生に対してパワハラ行為を行っているそうです。ご自身の行為がパワハラに当たると自覚があればまだマシですが、自覚はありますか？案外、生徒は見てるし自分が被害に遭ってなくても記憶に残ります。『自分は大丈夫』じゃなくて、『自分、大丈夫かな？』という意識を常に持てないでしょうか？1年間ありがとうございました。次年度もよろしくお願いします。（1年生保護者）

(回答)

こちら職員に確認をいたしました。思い当たる節がないとのことでした。様々な見方、認識の仕方があろうかと思っておりますので、直接、お電話でのご連絡をお願いいたします。

○学校側では直接、関知が難しいと思われる人事に関する要望をさせていただきます。大変申し訳ありません。

①一つ目ですが、三年生になると受験を控える大事な時期になりますので、二学年から三学年に上がるタイミングで、担任の先生が変わってしまいますと、弊害を招くことも想定されるかと思えます。多方面で指導方針が変わってしまう事や二学年時点で実施した面談での方向性が損なわれてしまう可能性もあり、生徒や保護者に混乱を招く恐れがありますので、5クラスとも現担任の先生で、来年度を迎えることができると大変助かります。

②二つ目ですが、講師の先生について、同じ学校への勤務は一年と聞いておりますが、学習指導の方針や部活動の指導方針が大きく変わる懸念があり、生徒の混乱を回避するためにも複数年指導いただけると助かります。人事の意見で、大変申し訳ありません。

(2年生保護者)

(回答)

学校と生徒のことを真摯にお考え頂いたご意見ありがとうございます。ご意見の冒頭にもございますとおり、講師の配置を含めた年度末人事異動につきましては、校長の意見や

学校の実情を踏まえ、千葉家教育庁北総教育事務所管理課が各市町教育委員会と相談しながら進めていくものです。校長としましても、県教育委員会及び市教育委員会に対して最大限の具申はして参りますが、教職員の人事異動の最終的な決定権は、千葉県教育委員会にあることをご理解頂ければと思います。

○苦情苦言等ですが、時間が経つと忘れてしまうのでいつでも投稿できる様にしてほしいです。（対応は年２回でもいいです。）（３年生保護者）

（回答）

保護者の皆様の本校に対するご意見やお考えについては、いつでもお聞かせいただきたいと考えております。学校といたしましても改めるべきは改め誠実に対応して参ります。

電話の場合は、担任や学年職員に限らず管理職へ直接ご連絡いただいても結構ですし、学校メール（omigawa-j@katori-edu.jp）もご活用いただければと考えます。